

Vol.2
2017.3

がくなん 交通かわらばん

NEWS LETTER

富士宮市

富士市

岳南都市圏パーソントリップ調査[総合都市交通計画調査]

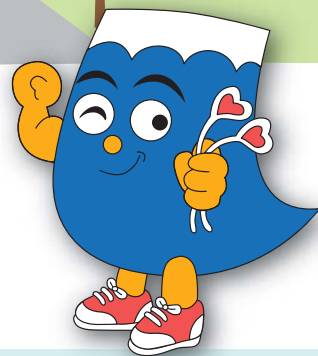


特集
1

交通まちづくりに関する都市圏の現状

特集
2

交通実態調査の結果概要



パーソントリップとは?



パーソントリップとは、
人(パーソン)の動き(トリップ)を意味します。
『パーソントリップ調査』とは、どのような人が、
いつ、どこからどこへ、何の目的で、
どのような交通手段で動いたかについて調査し、
平日1日の全ての動きをとらえる
交通実態調査で、概ね10年に1度実施しています。

パーソントリップ調査の概要

● 調査日

平成27年12月、平成28年2月に実施しました。

● 調査対象地域

岳南都市圏(富士市、富士宮市)を対象としました。

● 調査対象者

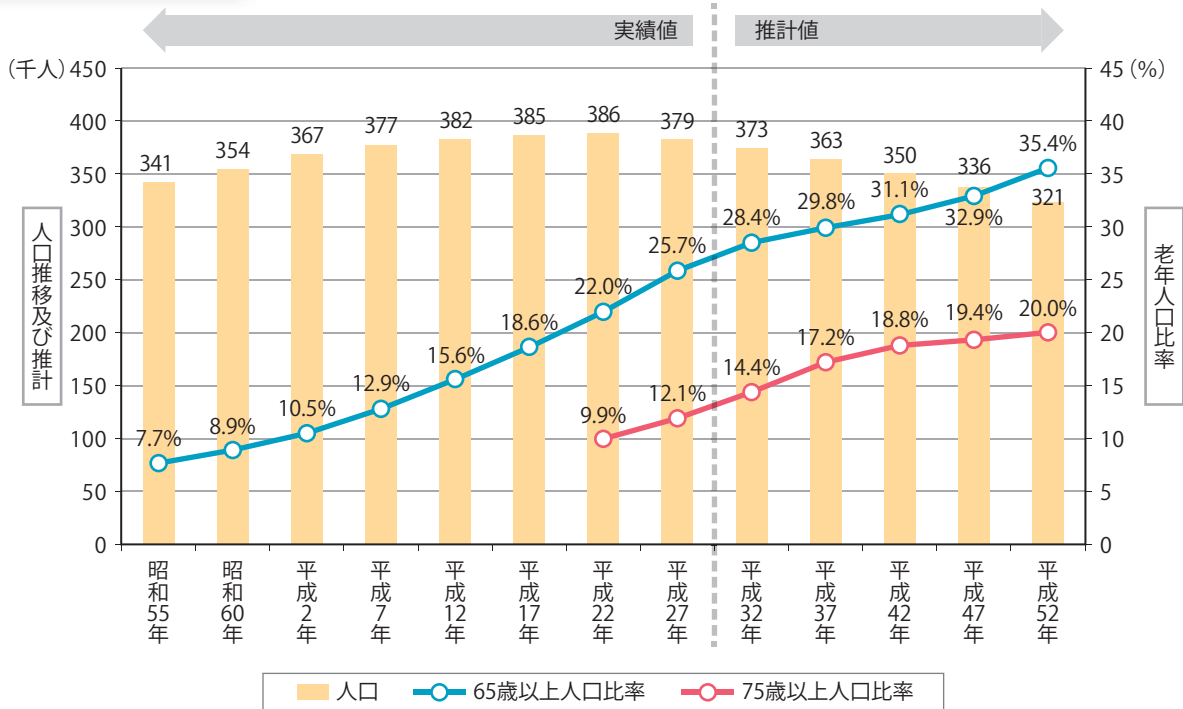
約16万世帯の中から無作為抽出された約7万世帯(5歳以上)に調査票を郵送・配布させていただき、そのうち約1.5万世帯・約3.5万人の方からご回答いただきました。

特集
1

交通まちづくりに関する都市圏の現状

人口減少と高齢化

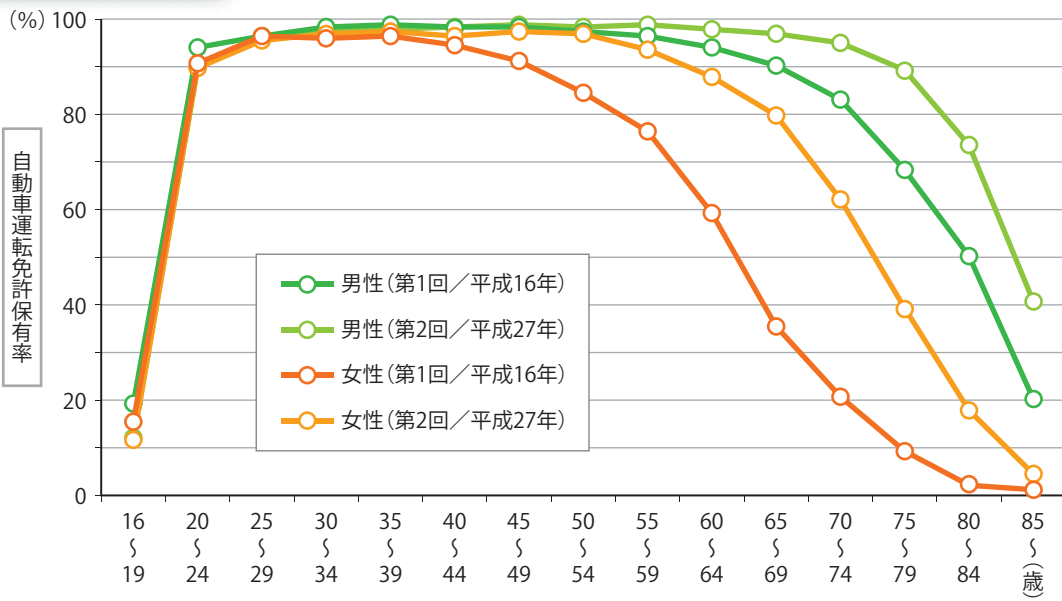
- 平成17年ごろから人口減少が顕在化しており、今後はより急激な人口減少が予測されています。
- 現在4人に1人が高齢者(65歳以上)であり、将来的には3人に1人以上が高齢者となることが予想されています。



出典：平成27年以前／国勢調査（各年10月1日）、平成32年以降／国立社会保障・人口問題研究所推計値（H25.3推計）

運転免許保有率の変化

- 男性は高齢者の運転免許保有率が増加しており、現在では75～79歳の約90%の方が免許を保有しています。
- 女性は全体的に増加しており、70～74歳で50%を超えています。



出典：各回の岳南都市圏パーソントリップ調査



特集
1

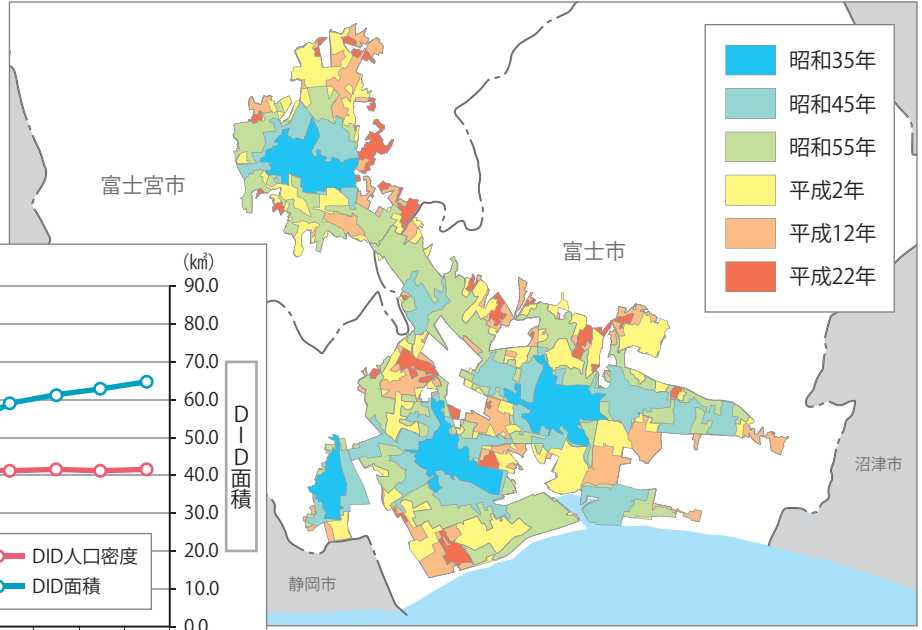
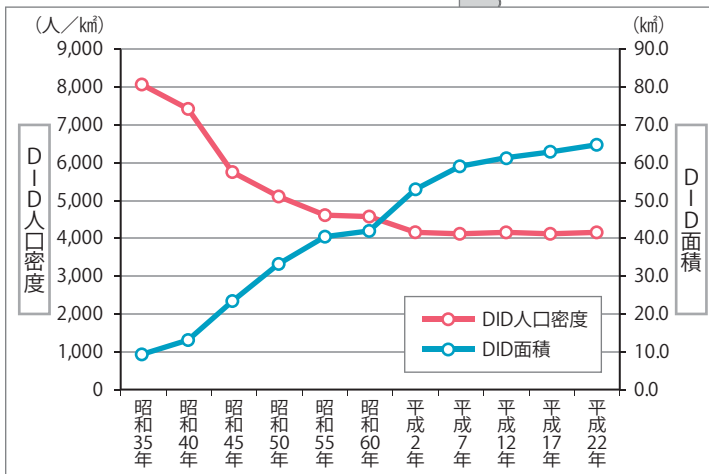
交通まちづくりに関する都市圏の現状

市街地の拡大と低密度化

- 都市圏の人口集中地区面積(DID面積)はわずかながら拡大を続けており、平成22年度には昭和35年の7倍以上の65km²にまで増加しました。
- 一方、人口密度は半減しており、低密度化が進むことによるまちなかの賑わい低下が懸念されます。

DID地区とは…

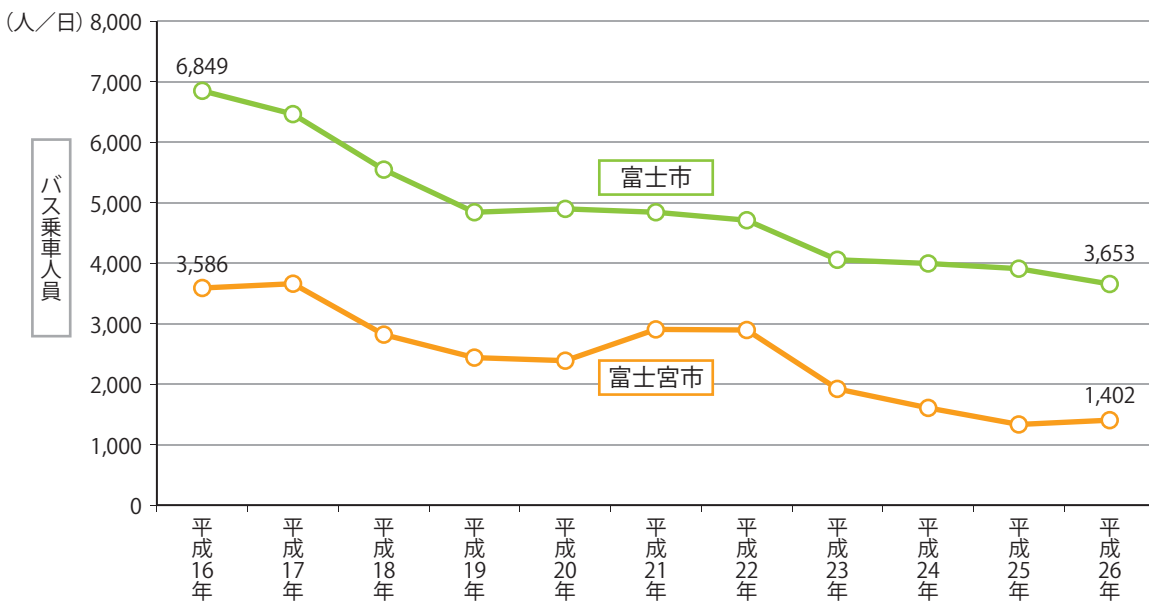
国勢調査の基本単位区(町丁・字等)において、人口密度が4,000人/km²以上となる基本単位区が互いに隣接しており、その人口合計が5,000人以上となる地区をDID地区(人口集中地区)といいます。



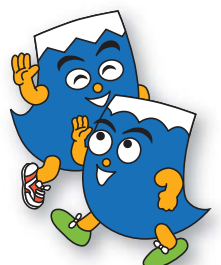
出典:国土数値情報

バス利用者数の減少

- 富士市、富士宮市のバス利用者数は年々減少し、約10年間で半減しています。
- 利用者数の減少はバスサービスの低下を招くものであるため、より一層効率的な運行が求められます。
- 民間のバス路線が廃止された地域では、コミュニティバス(ひまわりバス、宮バス)やデマンドタクシー(こぶし、宮タクなど)が地域交通を支える重要な交通サービスを担っています。



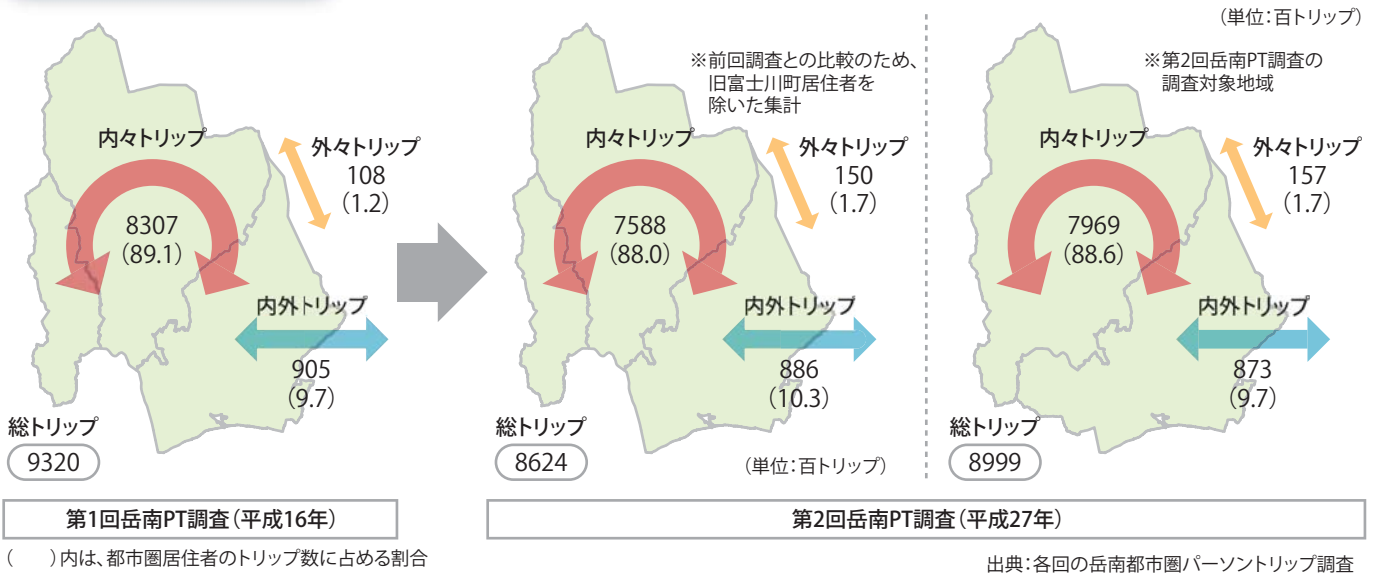
出典:各市統計書(路線バス、コミュニティバスの合計)



特集 2 交通実態調査の結果概要

都市圏全体の1日の動き

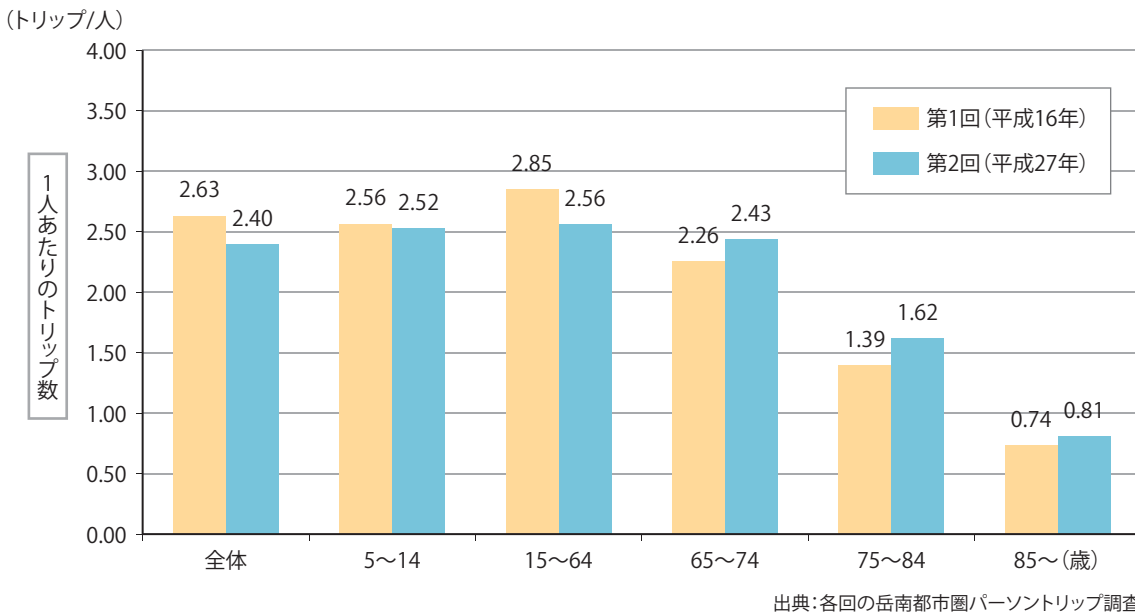
- 本都市圏の総トリップ数は約90万トリップ/日です。
- 前回調査(平成16年)から都市圏の内々(出発地と目的地ともに都市圏内)および内外(出発地と到着地のいずれかが都市圏内)のトリップともに減少しました。



トリップとは…
人がある目的を持って出発地から目的地まで移動した場合の1回の動きをトリップといいます。
詳しくは7ページをご覧ください。

1人あたりの1日の動き

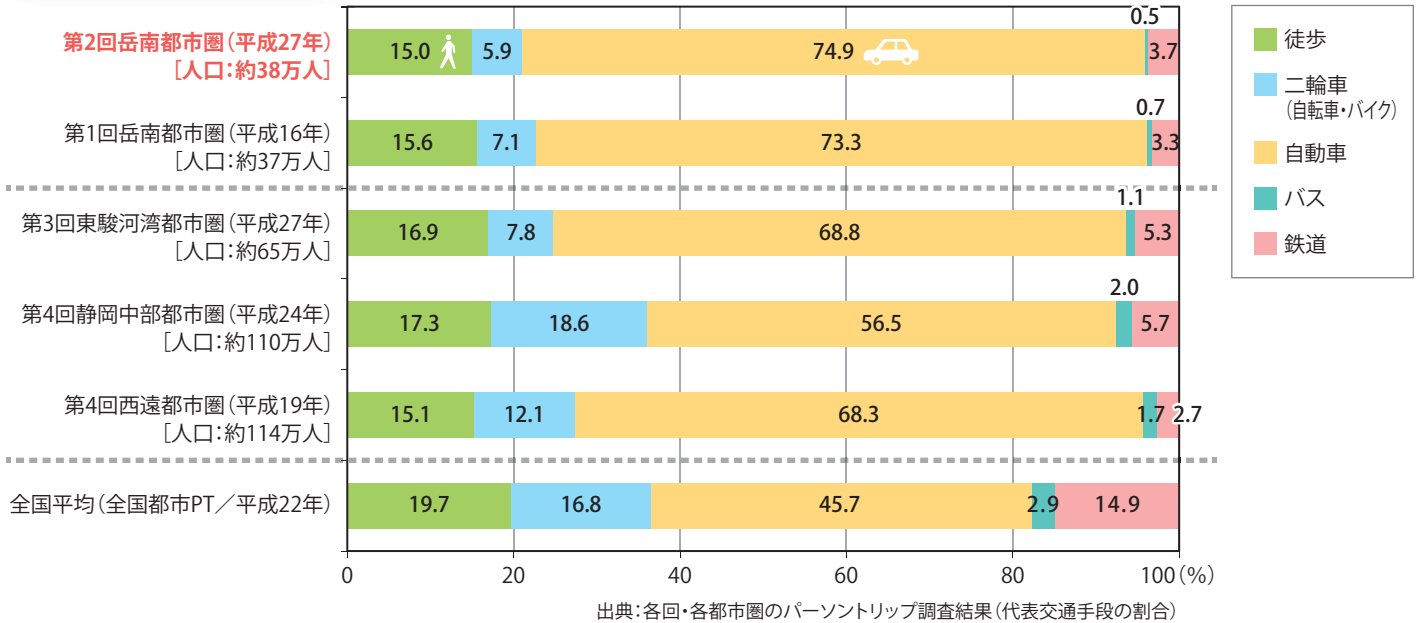
- 前回に比べ1人あたりのトリップ数は、0.23トリップ/日減少しています。
- 一方で、65歳以上の高齢者のトリップ数は増加しており、高齢者層の動きが活発になっています。



特集 2 交通実態調査の結果概要

代表交通手段の割合

- 前回調査からさらに自動車利用の割合が増加し、今回の調査では全体の75%を自動車利用が占めています。
- 静岡県内のほかの都市圏では自動車利用の割合は70%未満であり、本都市圏は自動車への依存度が高い都市圏と言えます。

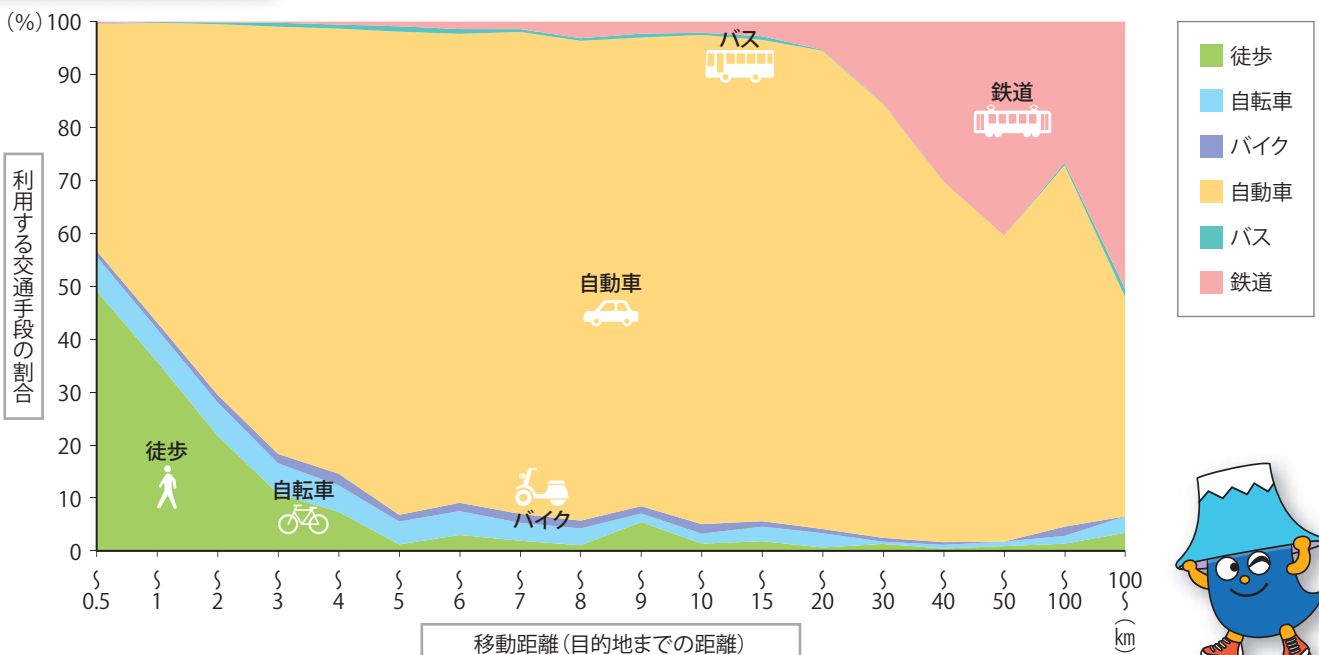


代表交通手段とは…

1回のトリップでいくつかの種類の交通手段を用いている場合に、最も優先度の高い交通手段を代表交通手段といいます。優先順位は、鉄道、バス、自動車、バイク、自転車、徒歩の順としています。詳しくは7ページをご覧ください。

移動距離別の交通手段の割合

- 移動距離別の交通手段の利用割合をみると、1km以内の移動であれば徒歩や自転車が50%を占めていますが、1kmを超えると自動車が主要な交通手段となります。
- バスの利用は極めて少なく、鉄道は20km以上から多く利用されています。

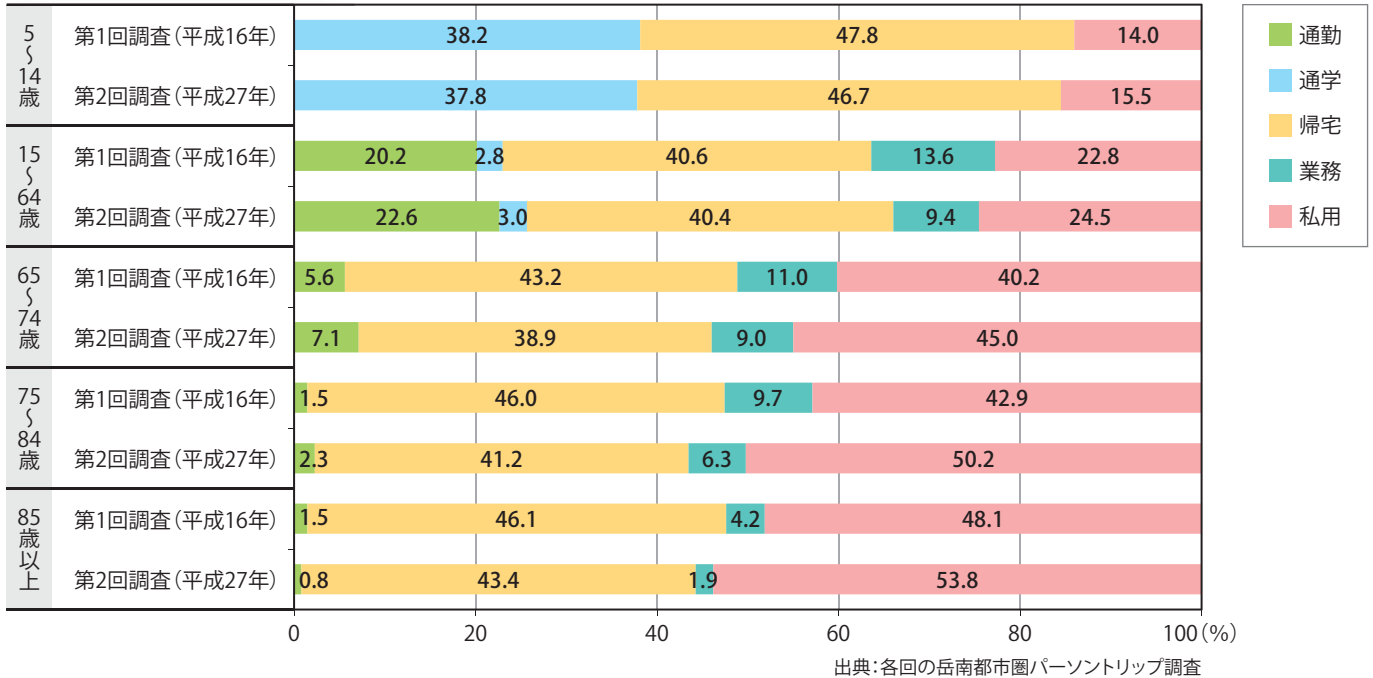


特集
2

交通実態調査の結果概要

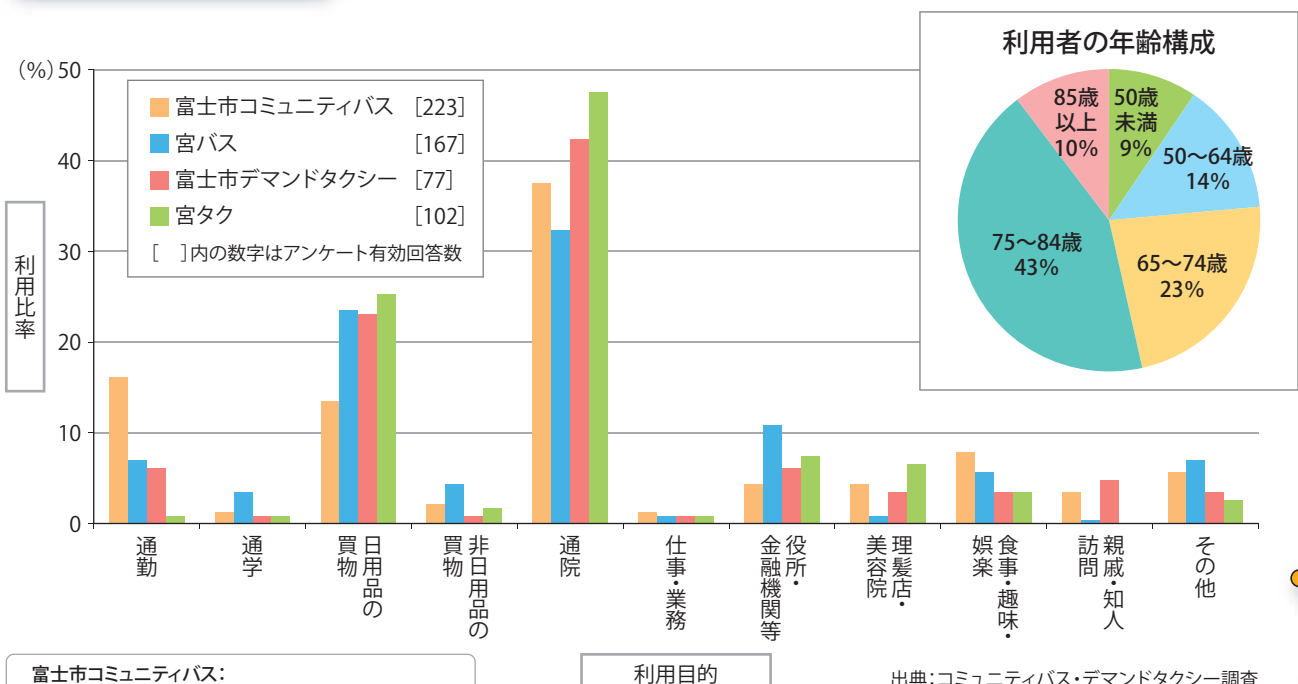
高齢者の トリップ目的

- 高齢者のトリップ目的は私用目的が多く、全体の半数を占めています。
- さらに、私用目的の割合は前回調査から約5%程度増加しています。



コミュニティバス・ デマンドタクシーの 利用状況

- コミュニティバス・デマンドタクシーの利用者は65歳以上が多く、全体の7割以上を占めています。
- 全体的には通院や日用品の買物など、日常生活における利用が多く、富士市のコミュニティバスでは通勤にも利用されています。



富士市コミュニティバス:
ひまわりバス、しおかぜ、みなバス、こうめ、うるおい、
ナイトシャトル、モーニングシャトル、なのはなバス

富士市デマンドタクシー:
こぶし、ほたる、かぐや、おかタク、マリン、なのはな、やまぼうし



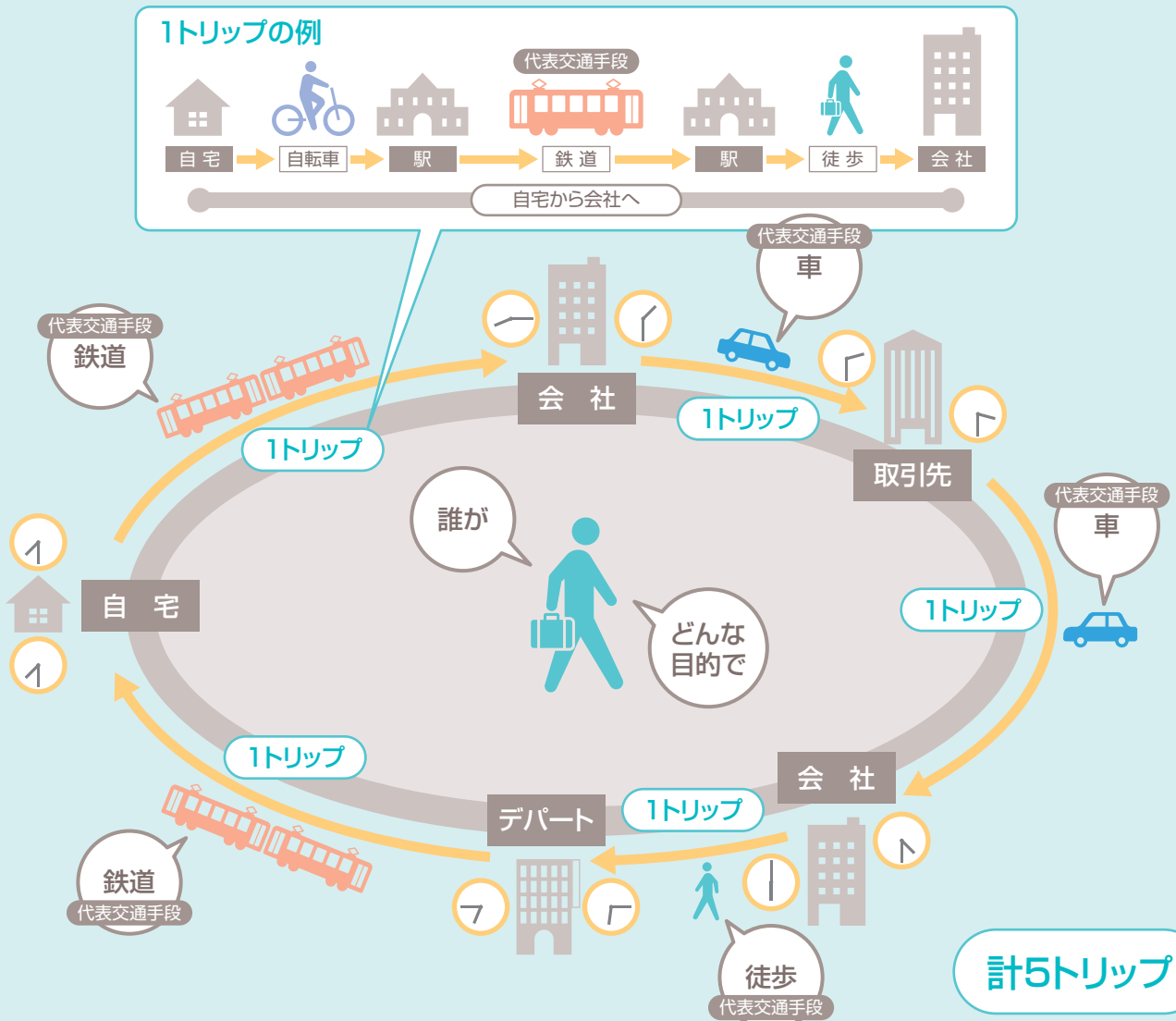
トリップとは…

人がある目的を持って出発地から目的地まで移動した場合の1回の動きをトリップといいます。
例えば、通勤という目的で自宅から勤務先へ行った場合には、通勤トリップとして1トリップになります。
また、勤務先から自宅に帰る動きも帰宅トリップとして1トリップになります。

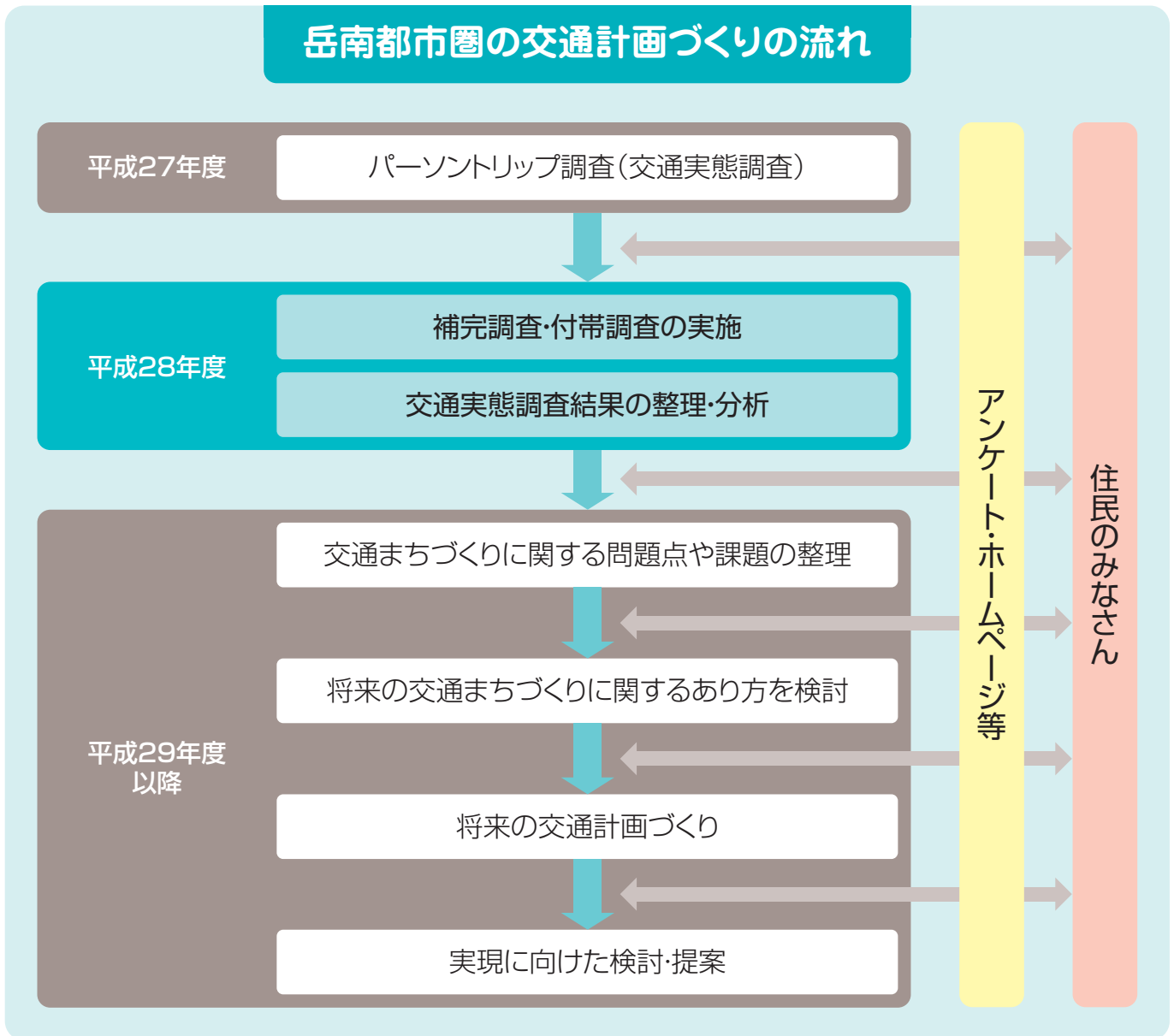
トリップの目的 大きく5つに区分

- ①通勤…勤務先へ行ったトリップ
- ②通学…通学先へ行ったトリップ
- ③帰宅…外出先から自宅へのトリップ
- ④業務…販売・配達、打合せ、作業・修理、農林漁業などのトリップ
- ⑤私用…家事・買物、食事、通院、娯楽レクリエーションなどのトリップ

ある人の1日の移動のイメージ



岳南都市圏の交通計画づくりの流れ



岳南都市圏総合都市交通計画協議会 [静岡県・富士市・富士宮市]

静岡県交通基盤部都市局都市計画課 TEL 054-221-2219
富士市都市整備部都市計画課 TEL 0545-55-2786
富士宮市都市整備部都市計画課 TEL 0544-22-1166

調査に関する
お問合せ先

岳南都市圏パーソントリップ調査窓口

E-mail ● kyogikai@gakunan-pt.jp

<http://www.gakunan-pt.jp>

第2回岳南PT



次回も
お楽しみに!